

日本語と英語の語用論的研究

関連キーワード: ポライトネス理論、謝罪・感謝、愛情表現、社会認知モデル

研究内容

- ・ポライトネス理論に基づいた語用論的な観点からのコミュニケーション研究。
- ・実証的研究対象として、感謝・謝罪表現、愛情表現などがあげられる。
- ・理論レベルでの研究対象として、インタラクションの社会認知モデルがあげられる。

研究者プロフィール

- ・文学部教育学科 教授 ロング,クリストファー
- ・専門分野 社会言語学
- ・研究分野 語用論
- ・所属学会 社会言語科学会 (JASS)



地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ 他

- ・文化間の相違点・共通点を明らかにすることは本研究の本来の目標であり、地域貢献にもなると考えられる。

研究者への連絡先

- ・email: c-long@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- ・Tel: 022-721-3228